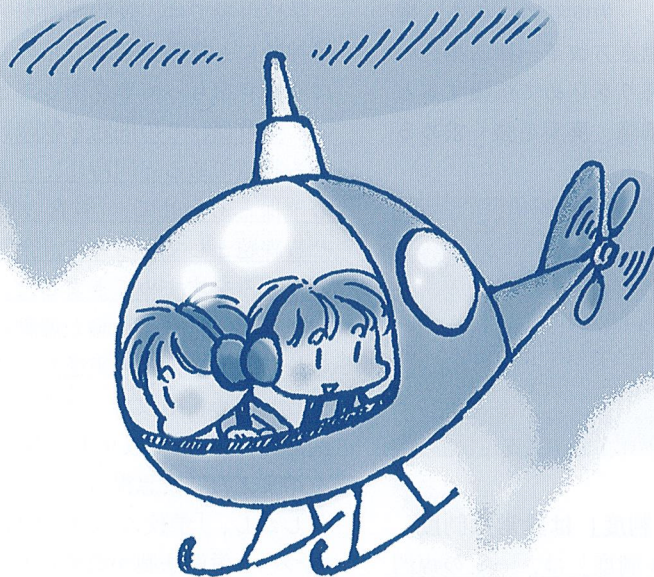


# 道教組

DOKYOSO NEWS vol.534



## 「働き方改革一括法案」の徹底審議、 廃案を強く求める（全教談話）

中学校道徳教科書展示会で分かること、考えたこと  
「教育座談会」で保護者から疑問や意見が続出

夏の集い合い・学び合い  
わたしのとっておき



# 過労死を促進し、労働者のいのち、権利をないがしろにする「働き方改革一括法案」の徹底審議、廃案を強く求める

2018年6月5日 全教 書記長 小畑 雅子

政府・与党は、5月31日、衆議院本会議において「働き方改革一括法案」の採決を強行し、6月4日、参議院において同法案が審議入りしました。8本もの法律を一括し、多くの論点のある法案を、わずか35時間程度しか審議しなかった上に、野党の質問について厚生労働大臣、政府参考人がともに答えないうまま委員会審議を打ち切るなど、異常な国会運営のもとでの強行採決となりました。

全教は、過労死を促進し、労働者のいのち、権利をないがしろにする「働き方改革一括法案」の衆議院での強行に満身の怒りを込めて抗議するとともに、参議院での徹底審議、廃案を強く求めるものです。



## 「高度プロフェッショナル制度」は異常な制度

「高度プロフェッショナル制度」は、一定の専門業務に従事する年収1075万円以上の労働者に対して、労働基準法が定める労働時間、休憩、休日及び深夜の割増賃金に関する規定を一切適用しない制度です。

審議の中でも、「48日間連続で毎日24時間、合計1152時間連続で働かせることができる」異常な制度であることが明らかとなっています。

また、時間外労働と休日労働の上限について単月100時間未満、2～6か月で80時間未満という過労死ラインの水準に設定したことは、働く者の

「長時間過密労働を今すぐ解消してほしい」「健康で生き生きと働き続けたい」という願いに背くものであり、断じて容認できません。

残業上限は、少なくとも厚労省が示したガイドラインの水準である月45時間未満、年360時間未満まで引き下げるべきです。

## 学校現場では、教職員を追い詰めている

学校現場では、長時間過密労働が、肉体的にも精神的にも教職員を追い詰め、子どもたちの教育にゆとりをもって専念することを困難にしています。全教は、この問題を教職員のいのちと健康を守る課題であると同時に、子どもと向き合う時間の確保とあわせて、「教育の質」を確保し向上させる課題としてとらえて、「全教提言」を発表し、とりくみをすすめてきました。

文部科学省も、世論と運動に押されて、教職員の長時間過密労働の実態を「看過できない状況」として認め、中教審「学校における働き方改革特別部会」において取りまとめられた「中間まとめ」を踏まえた「緊急提言」を発出しています。

しかし、「学校における働き方改革」がよって立つべき労働法制が改悪されてしまえば、教職員の長時間過密労働を真の意味で解決することができなくなってしまいます。また、教職員の働き方の問題にとどまらず、教え子、教え子の保護者の働き方にもつながる重大な問題です。

全教は、「働き方改革一括法案」の撤回、廃案に向けて、全国の仲間と署名、街頭宣伝、国会前行動、国会傍聴などにとりくんできました。参議院で引き続き共同を広げ、廃案に向けてとりくみをすすめていく決意です。以上



## 中学校道徳教科書展示会で 分かること、考えたこと

道教組 新保 裕

6月7日、書記局の齊藤と新保の2名で、札幌市役所1階の中学校教科書展示会に行ってきました。夕方行きましたが、展示会に来ている人はほとんどいません。担当者に聞いたところ、「平日は50人ぐらい来ますよ」とのことでした。札幌市役所は17時15分で終了になっていて、もっと時間延長をすべきなのと思いました。

### ■やっぱり危険な日本教科書の道徳教科書

さて、教科書会社は8社あり、短い時間では厳しいです。注目の日本教科書会社は、安倍首相のブレンで道徳推進の



日本教科書の道徳教科書

八木秀次氏らが2016年に設立しました。日本会議が求める特異な歴史観に基づき、日本礼賛、愛国心をあおっている会社です。日本教科書の2年生教材「白菊」では、ハワイのホノルルで戦後70年の節目にあたり、長岡市の花火を慰霊や鎮魂、献花として打ち上げようとの計画が、反対もあって1年間かかりました。打ち上げ花火の名前が「白菊」です。そして、次のページに「和解の力」という安倍首相のスピーチが唐突に記載されているのです。現職の安倍首相を意図的に出し、神道の「御霊」(みたま)を強調するあたりは唐突ですし、違和感がわきます。

先の大戦を侵略戦争と認めない安倍首相が、「和解」といっても国際的には通用しません。

### ■ルールは何のため？

どの教科書も22の徳目によって編集されているため、似た感じがするのは否めません。例えば、ルールを守るということが強調されていますが、そのルールは、「自分たちでより良いものに変えていくことができるんだ」という観点が必要ですし、子どもたちに身近なルールを見直す力、変えていく力を養うことが必要だと思います。ルールを守る美徳だけ言われたら窮屈で、ルールを守ることだけで本当にいいのでしょうか。考え、実践する力が育たないと思います。校則がその典型ですし、社会的ルールはどうでしょうか。

### ■スーパースターやオリンピック選手の登場

どの教科書にもスーパースターが登場し、オリンピックで金メダルを取るような選手がもてはやされます。その選手は努力したと思いますし、すごいと思うことはあるでしょう。でも、みんながスーパースターにはなれませんが、いくら努力しても到達できないことは山のようにあります。できないことの方が多いのですから、そこはどう考えますか。

### ■わたしたちはどうする

最終的には、教科書を使わなければなりません。適切な教材も若干ありますが、全体を見ると危険な教材が多いとも言えます。教材の弱点をふまえながら、子どもたちが身の回りの出来事を話し合い、より良い解決方法を学べるような授業にしたいものです。そして、個人だけの授業改善ではなく、学年やブロックに広げていくことが求められています。そのためには、みんなで学びませんか。

### 「特別の教科 道徳」 について学びませんか

- ◇渡辺雅之さん(大東文化大)の講演と実践交流
- ◇8月2日(木) 13:00~17:00
- ◇北海道高校センター 4階大会議室



# 「教育座談会」で保護者から疑問や意見が続出

ゆきとどいた教育（主催）



6月15日、「ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会」主催で教育座談会が開催されました。参加したのは小・中・高校生のお子さんがあるお母さん、お父さん、教員が14名です。続きは「ゆきとどいた教育ニュース」で紹介します。

## ◇運動会午前開催について

【お母さん】運動会の午前開催についてどんな理由でそうなったのかよく分からなかった。アンケートもとっているようです。地域の行事として家族一緒に食事をするのもいいと思います。

【お母さん】私のとこも午前開催で、昼食の負担軽減、保護者がそろって来られない事情もあり、そうなっているようです。学校事情でいうと、道徳や英語の授業で大変なので、運動会の種目を減らし、子どもたちの練習時間を減らしたいということのようです。6年生は家に帰ってきたら（昼も食わず）13時半になっていました。

【お母さん】「英語が入ってきたので、授業の時間を確保のため運動会を短くします」との話が学校からありました。

【お母さん】うちは午後まで運動会があって、「えー、なんで午後まであるの。周りの学校は午前だけなのに」という保護者さんもいました。私としては、思い出にもなり、午後まであってもいいのかなと思いました。

【教員】先生方は英語が35時間増え、今でさえぎちぎちで大変な思いがあります。運動会で

子どもたちが育つこともあり、その問題が大きいです。

## ◇授業が難しくないですか？

【お母さん】（子どもたちが）太陽にあたっていないと思います。これで元気な子に育つんでしょうか。私立の小中学校並みにカリキュラムがだんだん前倒しになっていて、子どもたちも大変そうです。

【お母さん】1年生の時計の授業なんですけど、1時・2時・1時30分・2時30分の学習が、45分授業1回で終わってしまい、うちの娘は分かっていないので困りました。先生は1時間の授業で終わり、普段の生活の中で時計の見方を覚えていくということなんですかね？

【教員】3時間扱いが2回あり、3学期には何時何分まで学ぶんですが、むずかしいです。僕は時間を増やして教えました。

【お母さん】1年生で分からなかった時計が2年生の後半になったら分かってきたようです。

【お母さん】社会の都道府県も大変で、覚えきれない。ローマ字を3年生で習い、4・5年で何も習わなくて、5・6年になると忘れてるんですよ。

【教員】ローマ字を3年生で習うのは、パソコンでローマ字入力をやらせる関係もあると思います。以前は6年生で扱った教材が下の学年におり、時間も少なくなっている問題もあります。

【教員】都道府県について、今度の学習指導要領では「岐阜」と漢字で書けるようになっていきます。詰込みですよ。「新潟」もなかなか書けないですよ。

【お母さん】北方領土とアイヌの学習についてかなり時間を割いているようですが、なぜですか？

【教員】北海道で先住民族のアイヌについて学ぶことは大事です。北海道の歴史を正しく学ぶことの意味もあります。

# 夏の集い合い・学び合い

## 第28回全国学校事務研究大会札幌集会

▼今年の全国事務研は、札幌で開催されます。道教組事務職員部の方々が現地実行委員会の中心となって準備が進められています。組合員の参加には、一定の旅費補助があります。全国大会を成功させるために、全道各地から積極的に参加をしてください。

日程 7月29日(日)～7月31日(火)

会場 ホテルライフオーブ札幌

内容 29日～記念講演

「家計から見る子育て家族の生活」

鳥山まどか氏(北海道大学教育学部准教授)

30日～分科会

第1分科会

「学校事務職員のごとと役割」

第2分科会

「子どもの学習権を守るための私たちのとりくみ」

第3分科会

「ゆきとどいた教育をめざす自治体へのとりくみ」

第4分科会

「仲間とつながり、安心して働き続けるために」

31日～講座

「教員養成の現場から」

栗野 正紀氏(北海道教育大学札幌校准教授)

参加費 4,000円(29日夕食交流代6,000円、30日昼食代1,000円)

## 障教部「なつがく」(夏の障害児教育café)

▼道教組障教部・道高教組障害児学校の共催です。組合員は参加費の補助があります。

日時 7月28日(土) 10:30～15:00

高校センター4F

テーマ 「自分らしく生きる～障害児教育における性教育～」

内容 講演～伊藤修毅氏(日本福祉大学)交流

参加費 1,000円

## 「特別の教科・道徳」夏の全道学習会

▼道教組・子どもセンターの共催で行われます。各学校で苦心しながらとりくまれている「特別の教科・道徳」について学び合います。教育のつどい「特別の教科・道徳」分科会共同研究者の渡辺雅



之氏の講演と、小学校・中学校に分かれての実践交流を行います。組合員には一定の旅費補助があります。組合員以外の方も大歓迎です。全道の仲間と学び合いましょう。

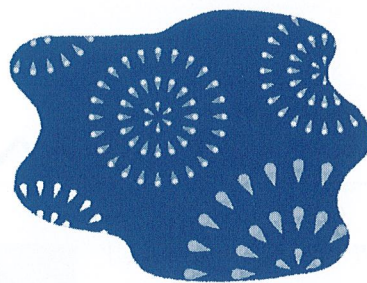
日時 8月2日(木) 13:00～17:00

会場 北海道高等学校教職員センター4階大会議室

参加費 500円

## 第54回矢白別平和盆おどり

▼安倍政権が9条改憲へと突き進む中、長年にわたって平和のとりくみを続けてきた矢白別の存在意義はますます大きくなってい



ます。遠距離の組合員には一定の旅費補助があります。全道各地から参集しましょう。

日程 8月4日(土)

18:30 うたごえ交流

19:00 開会集会

(花火・かがり火点火・踊り)

21:00 ステージ交流

場所 矢白別平和碑広場(北海道別海町矢白別)



# 札幌で、宗谷で、青年部の集い合い

## なつフェス (夏の教育フェスタ in 札幌)

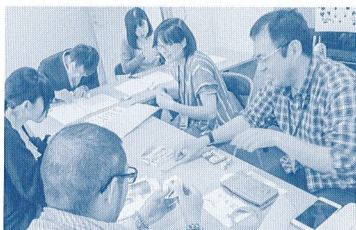


6月16日(土)・17日(日)、道高教組青年部の主催でなつフェスが開催されました。全体で90名を超える参加者が集まり、道教組からも9名が参加しました。高教組ではバスをチャーターして乗り合わせてきた人たちもいて、多くの青年教職員と楽しく交流しまし

た。

なつフェスは、学園祭の楽しい雰囲気の集会として企画され、5つのステージ企画と10のわくわくブースが行われました。ブースの1つ「小中学校のブース」は宗谷教組青年部が担当し、楽しい教材教具を持ち寄って交流しました。ステージ企画「美青年の主張」では道教組の先生も発言しました。

夜は高校センターに場所を移して、「BBQ&うまいもんDE大交流会」がありました。1階駐車場では炭を起こしてバーベキュー、4階では寿司を食べながら、大いに語り合いました。



小中学校のブース。高校の先生も来て、盛り上がる



ステージ企画「美青年の主張」では、富樫青年部長、太田青年部副部長が発言



大交流会では、各地から持ち寄られたおいしいものを食べながら、楽しく交流

## 宗谷教組青年部

### 集え！稚内へ！

6月2日に、宗谷教組青年部「集え！稚内へ！」が行われました。

昼は、幌延町ゆめ地創館見学とトナカイ観光牧場へ行きました。車に乗り合わせ、道中は豊富牛乳のソフトクリームを食べながら、和気藹々とした雰囲気で活動しました。

夜は交流会をしまし



トナカイに餌やり

た。昼に参加できなかった組合員も加わって交流しました。大いに盛り上がり、書記長宅に場所を移して深夜まで語り合いました。

次回は、11月10日～11日に、猿払村と浜頓別町で集いが計画されています。コテージに泊まって交流を深めます。全道から参加して交流しましょう。



交流会での語り合い



# “ぼっち”じゃない！……ひとり分会から…… その⑨

鶴居村立鶴居小学校分会

村田 弘幸（教諭）

## 大切！みんなとの「つながり」



分会や支部にたくさん仲間がいて、活動の時には、常に先輩の先生方がリードしてくれ、それが「あたりまえ」と思っていた時代がありました。泊まりがけの大きな集會に、自分の子どもと参加し、講座で教えてもらったのも楽しい思い出です。

“人とつながる、ってとっても大切！”を実感してきました。それが、支部のメンバーが異動などで少しずつ減り、分会のメンバーも減ってきて、気がついたら支部には、たった一人。新卒や若手の先生方にいろいろアタックしてみましたが、組織拡大は難しく、寂しい思いをしていたところ、隣の阿寒支部より「一緒に！」と声をかけられ、月に一度の「全員集會」に参加させてもらうことになりました。全員集會といっても阿寒支部も3人、私を含めて4人です。でも、必ず集まっておいしい食事をして、学校の様子を語り合い、時にはグチを言い、旅の報告なども聞きながら…！短いですけど、元気をもらえる大切な時間です。

## 一人でできることも！

一人支部、一人分会になって、「自分ができることは何だろう？」をより真剣に考えるようになりました。まず、組合の活動を職場の中で知ってもらうために「分会だより」発行しました。名前は『このゆびと〜



まれ！』。まずは、全国教育署名のお願いを職場に訴えました。例年、チラシと署名用紙だけでの活動でしたが、分会だよりでポイントを絞って働きかけ、子育て世代の多い職場の先生方に共感してもらいました。地域への署名活動も、全国署名の集約結果の記事をおたよりに載せ、礼状として届けました。一軒一軒まわりながら、激励や共感の言葉をもらいました。（時にはお裾分けをいただいたり）地域とのつながりもしっかり感じられる活動となっています。

一人で、たくさんすることはできないけれど、これからも出来ることをコツコツがんばって、いろんな「つながり」をつくっていきたいと思います。

## 編集後記

▼私の好きな詩人、谷川俊太郎さんの作品に「であるとあるで」という詩があります。詩の前半は、「であるはであるでなかろうか」から始まり、「であるはであるであるだろう」という当たり前の結論で終わります。後半は、言葉が入れ替わって、まるで意味の通じない文章になっています。▼この詩は、意味の無いことをあれこれ理屈立てて意味があるように見せかけている無意味な主張について、皮肉を込めて笑い飛ばす、そういう意味を持った詩であると思うのです。▼先日、国会

の傍聴に行ってきました。「働き方改革関連法案」の強行採決の場面です。加藤厚労大臣は「ご飯論法」とも揶揄されるかみ合わない答弁を繰り返します。▼専従になって、交渉の場面に参加するようになりましたが、そこでも、「総合的な判断」「適切だった」と意味のない定型文が繰り返されます。▼そこに向き合う私たちは、一つひとつの「無意味」に対して丁寧に条理を立てながら世論を広げていくことが求められていると感じました。（斉藤）



## わたしのとっておき

“とっておき”の写真・絵・短歌・川柳など紙面で紹介できる作品募集。頁下メールアドレスへご連絡を。



【縁】

二つの作品をつくってくれたのは、ある兄弟です。二人とも1年間だけ同じ学級で過ごしました。今年度、兄弟の末っ子の担任をしています。あの頃のように「心が通い合う」そんな時がくることを信じています。

【相座 拓己(利尻中学校)】



【北の果てに立つ作品】

稚内公園内にある「氷雪の門」(作者 本郷新)です。本郷新の作品とは、学生時代に会いました。「哭」(こく)という作品もそうですが、手のひらから伝わる力強さが魅力的です。

【長畑 幸太郎(稚内市立潮見が丘小学校)】

# 全教自動車保険

「見積依頼」で「マモルン・リフレクター」をプレゼント!  
(マモルン・リフレクター) 光が当たると反射し、事故防止に役立ちます!



提携 東京海上日動火災保険株式会社

### 全教自動車保険加入にあたっての5つの特長

- ①無事故割引を他の保険会社や一部の共済から引き継げます
- ②保険料は給料引去または口座振替
- ③ご家族の車でも、何台でも加入OK
- ④退職者もメリット引き継ぎで安心
- ⑤申し込んだその日から安心

手続き

カンタン

有限会社 **川上企画** (道教組指定代理店)

札幌市中央区南大通西12丁目4-78 ウエスト12 1階  
フリーダイヤル 0120-215-789 FAX 011-218-2472

## 道教組

2018年7月1日発行

発行 全北海道教職員組合 発行者 川村安浩 〒060-0909札幌市東区北9条東1丁目 北海道労働センター 3階

TEL(011)742-0101 FAX(011)742-1001 メールアドレス dokyoso@seagreen.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.dokyoso.net>